

バナナうんちで元気な子

活動の名称 バナナうんちで元気な子

団体等の名称 特定非営利活動法人 日本成人病予防協会

活動に含まれる（連携している）団体等

- 幼稚園 ■ 保育所 ■ 小学校 □ 中学校 □ 高等学校 □ 中等教育学校 ■ 特別支援学校
- 児童館 ■ 公民館 □ 図書館 ■ PTA ■ 子育て・教育支援団体、NPO □ 企業・事業所
- 病院・保健所 □ 早寝早起き朝ごはん運動・家庭教育支援に関する実行委員会・協議会
- 行政（教育委員会） □ 行政（保健・福祉部局） □ 行政（その他の部局）
- その他（ ）

活動の概要

◆ 活動の目的・趣旨

バナナうんちが健康のサインであることに着目し、対象者にしっかりと良い便を出すための食べ物の選び方や消化・吸収・代謝・排泄の仕組み、生活リズムについて正しく理解させた上で早寝早起き朝ごはんの実践を促し、さらに「うんちクリニック」を用いて、家族全体で良い排便に繋がる習慣を浸透させていくことを目的としている。

◆ 主な活動内容

教材「バナナうんちで元気な子！」を作成して、授業が出来る講師を養成し、全国の幼稚園、保育所、小学校、PTA、教育委員会等で公開講座を行っている。



—うんちのものは何だろう？—



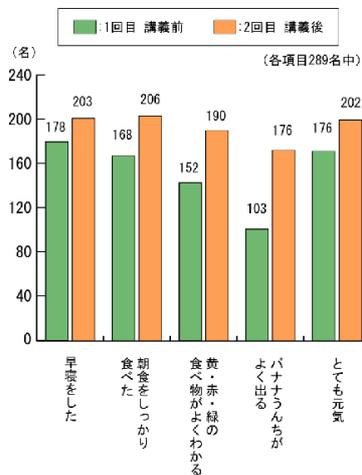
—小腸ってこんなに長いんだね！—



—教材「バナナうんちで元気な子！」—

◆ 活動の成果と今後の展望

全国で1,200名の講師を養成し、小学校での公開講座を113回行った。その後のアンケートの結果、バナナうんちの重要性をテーマに、早寝早起き朝ごはんの実践を促すことで、朝食の摂取状況や選食力の向上、排便の改善に繋がり、生活リズムを整えられる子どもが増えたという成果を得ることが出来た。今後も、全国的に普及していく。



—調査研究結果(一部抜粋)—